

【埼玉】インフィールド（野中章男社長、埼玉県所沢市）は、デジタルタコグラフ一体型のドライブレコーター（DR）を導入し、安全管理や燃費削減に取り組んでいる。

## インフィールド



野中社長

野中社長が「会計システムやパソコン（PC）が老朽化し、全てを入れ替える際、デジタル一体型DRがアルコールチェ

# 一体型DRで事故削減

ツカーなどとも連携できることが魅力」というように、タイガ（竹添幸

男社長、東京都千代田区）のトラック事業者向け総合管理システム「ト

ラックメイト」シリーズと連動運用できる点が導入の決め手となつた。

デジタル・DRから得られる全データは、移動

時間距離接近や急ブレーキがあつた場合には安全

輸送確保が不可欠。間接的経費ダウンにも結び付いており、今後も一体型機種を中心とした安全管理に力を入れていく。

動態管理、荷主へのPRに

に重きを置いているが、導入から半年程度で大きな効果が出ている。ドライバーの意識が変化し、防衛運転に努めることで事故低減につながつた。

「燃費削減よりも走行時間回転数管理

ミーティングで指導している」と野中氏。

動態管理を行うことにによる荷主へのPR効果も大きい。メーカーから輸送を直接受託している同社では、同業他社に対す

るプレゼンス（優位性）を保つためにも、安全な

輸送確保が不可欠。間接的経費ダウンにも結び付いており、今後も一体型機種を中心とした安全管理に力を入れていく。

（小瀬川 厚）